

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 25 年度第 2 回）議事録

日 時 平成 25 年 5 月 24 日（金）10：00～11：30
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 末松誠理事 門田守人理事 中釜斉理事 荒井保明理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成 25 年度第 1 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を中釜斉理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 報告事項

1. 今後のがん研究のあり方に関する有識者会議について

- ・会議の開催状況等について報告がなされた。
- ・今後の 10 年間に及ぶ対がん戦略の基本となるところであるのに、平成 26 年度予算要求へ繋げる必要から、わずか数ヶ月で考えることに疑問があるとの意見が出された。
- ・対がん戦略はすでに 30 年間行っているが、いまだ未解決の部分がある。新しい切り口で新しい戦略の構成を考えて行く必要があるとの意見が出された。

2. 第 2 回健康・医療戦略参与会合について

- ・会合の開催状況等について報告がなされた。
- ・日本の医療政策を動かしていくシステムが国民に見えないところとなっているので、そういうところも議論をして頂きたいとの意見があった。

3. がん登録等の推進に関する法律（案）について

- ・がん登録等の推進に関する法律（案）骨子が出され、パブリックコメント募集中であるとの報告がなされた。
- ・全国がん登録にかかる事務は、当センターに委任が想定されているが、法律が施行された段階で体制を作る必要があり、将来的に業務内容等に変化があれば組織もそれに併せて対応することを考える必要があるとの意見が出された。

4. 厚生労働省「がん検診のあり方検討会」の趣旨・検討事項について

- ・健康局長の私的諮問機関として、改めて検討が開始されたとの報告がなされた。

5. 施設移転に伴うがん検診一時休止のお知らせについて
 - ・研究棟建て替えマスタープランの一環として、予・検センターの検診部門を現在建設中の新治療棟へ移転することから、がん検診一時休止のお知らせを発信することについて報告がなされた。
 - ・検診部門移転後のがん検診のあり方について方針を検討する機会を設ける必要があるとの意見が出された。

6. 第3回シンポジウム「今後のNCCのあり方を考える」について
 - ・6月24日に開催する第3回目のシンポジウムについて報告があった。
 - ・7月下旬に第4回目のシンポジウムとして国際戦略をテーマに計画。また、これまでのシンポジウムの論点は企画戦略局で論点毎に取りまとめていく予定であるとの説明があった。

7. 平成24年度業務実績評価シート（暫定版）について
 - ・平成24年度業績評価シートの原案について報告がなされた。
 - ・今後、6月中旬までに仕上げ、厚生労働省へ提出するとの説明があった。

8. 労働組合との交渉について
 - ・労働契約法改正に伴う非常勤職員就業規則の改正について労働組合と5NCCで交渉を行い、平成25年4月から適用することで合意したとの報告があった。
 - ・公認臨床試験専門職（Certified Clinical Research Professionals）などの希少職種は、他の研究機関、大学等と人材交流ができるような仕組み作りも必要ではないかとの意見が出された。

III. 審議事項

- ・特になし